



2013モータースポーツファン感謝デー イベント告知 Vol. 2

2013年
3月2日(土)
3日(日)

入場無料の招待券は
ホームページでダウンロード！！

イベント続々決定！最新イベントのご案内

- エディ・ローソン来場！NSR500(1989)でデモ走行決定！！
- シルビアターボC、マツダ767B、ニッサンR90CKデモ走行決定！

世界GP、鈴鹿8耐で活躍したエディ・ローソンが来場！ NSR500(1989年)でデモ走行決定！！



1989年日本GP
Honda NSR500とエディ・ローソン

ローソン 世界GP引退以来 初めての鈴鹿サーキットでのHonda NSR500ライド
あの伝説の走り、「ステディ エディ」が復活！！

世界GPで4度のタイトル(1984年、86年、88年、89年)を獲得、4回出場した鈴鹿8耐
では優勝1回を含む3度の表彰台を獲得する活躍を見せたエディ・ローソンの来場
が決定いたしました。

イベント当日は89年のチャンピオンマシンHonda NSR500でのデモ走行に加え、トーク
ショーなどへの参加を予定しています。

エディ・ローソン

1958年3月11日生れ 54歳 アメリカ合衆国出身
世界GP: 1983年～92年参戦。チャンピオン4回
鈴鹿8耐: 1980、90、93、94年参戦。優勝1回

※イベントの内容は変更となる場合がございます。

1990年、平忠彦と組んで鈴鹿8耐優勝！



エディ・ローソン
(1990年鈴鹿8耐にて)

1980年にカワサキから鈴鹿8耐に出場し、いきなり2位表彰台を獲得したエディ・ローソン。
その後ヤマハのライダーとして83年から世界GPへ参戦し4度のタイトルを獲得した。
1990年、平忠彦と組んでヤマハから鈴鹿8耐に2回目の参戦を果たしたローソンは、
10年ぶりの鈴鹿8耐にもかかわらず見事なライディングで優勝を勝ち取った。世界GPを引退した翌年、
93年は辻本聡と組んでホンダのマシンで鈴鹿8耐に参戦し2位表彰台。94年は永井康友とのコンビで
ヤマハから参戦し4位。4度の出場で優勝1回を含む3度の表彰台、そして表彰台を逃したレースも4位と、
出場したすべてで上位フィニッシュする活躍を見せた。



1990年鈴鹿8耐のひとつま。ピットイン
したマシンにまたがる平とローソン

往年のモンスターマシン、グループCカー

ニッサン・シルビアターボC、マツダ767B、ニッサンR90CKのデモ走行決定！

80年代から90年代前半にかけて、世界中の耐久レースで人気を誇ったモンスターマシン、グループCカー。鈴鹿初登場でいきなりレコードタイムを7秒も縮め、ポール・ポジションを獲得したニッサン・シルビアターボC。ロータリーエンジンの甲高いエキゾーストノートで駆け抜けるマツダ767B。そしてニッサンの黄金時代を築いたニッサンR90CKのデモ走行が決定いたしました。

ニッサン・シルビアターボC



鈴鹿サーキットを走るシルビアターボC

※当日走行するマシンのカラーリングは異なります。

1983年、後に国内メーカーのル・マン24時間レース参戦へとつながる全日本耐久選手権シリーズがスタートした。耐久レースの王者として君臨するポルシェを打ち破るためニッサン、トヨタ、マツダが総力を挙げて参戦。その中の1台がニッサンの「シルビアターボC」だ。1983年の鈴鹿1000kmではコースレコードを7秒も縮めるタイムでポール・ポジションを獲得。その後も後継車に交替する1985年まで数々の名勝負を繰り広げるなど、耐久シリーズの初期を飾った名車でもある。

マツダ767B



鈴鹿サーキットピットレーンで作業するマツダ767B

4ローターエンジンを搭載したマツダ767は1988年にデビュー。92年までの5年間、ル・マン24時間や全日本スポーツプロトタイプカー耐久選手権(JSPC)で活躍した。767Bの型式はJSPCのレギュレーションに合わせた車両で、ポルシェ、ニッサン、トヨタらの強豪チームと厳しい戦いを強いられながらも、91年の鈴鹿1000kmでは7位に入る活躍を見せた。この年のル・マン24時間では後継車両の787Bが総合優勝を果たしており、その足掛かりとなったマシンでもある。

ニッサンR90CK



鈴鹿サーキットメインストレートを走行するニッサンR90CK

1990年、世界スポーツプロトタイプカー選手権(WSPC)にデビューしたこのマシンは翌年からJSPCにも参戦。1991・93年の鈴鹿1000kmで2位、92年はJSPCクラス優勝(総合4位)を果たしているマシンだ。このR90CKはイギリス製だが、国内製のR90CP、R91CP、R92CPらとともに、90年代前半の耐久レースにおけるニッサンの黄金時代を築いたマシンでもある。

30年の時を経てモンスターマシンが蘇る！ 星野一義がニッサン・シルビアターボCをドライブ



星野一義

1983年8月の鈴鹿1000km自動車レースで、鈴鹿初登場したシルビアターボCは星野一義のドライブでいきなり予選ポール・ポジションを獲得。しかもポルシェ956の持つレコードタイムを一気に7秒06も縮める驚異的なタイムだった。そのマシンにエース星野一義が乗り込む。大観衆を熱狂させたあの走りが30年の時を経て鈴鹿サーキットに蘇る。

※イベントの内容は変更となる場合がございます。

株式会社 モビリティランド 鈴鹿サーキット

〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町7992 TEL(059)378-1111 FAX(059)378-4568 URL <http://www.suzukacircuit.jp/>

特別無料ご招待券をホームページにてダウンロードいただけます
<ゆうえんちモトピアパスポートが割引になるクーポン券付！>

モトピアパスポート料金	大人(中学生以上)	2,900円(通常4,200円)
	子ども(小学生)	2,400円(通常3,200円)
	幼児(3歳~未就学児)	1,500円(通常2,000円)

詳細は鈴鹿サーキットホームページをご覧ください。 http://www.suzukacircuit.jp/msfan_s/

3月2日(土)

冒険型シューティングアトラクション
「バットのパワークリスタルハント」新登場！



※詳細は鈴鹿サーキットホームページをご覧ください

開催概要

- イベント名 : 2013モータースポーツファン感謝デー
- 開催日 : 2013年3月2日(土)・3日(日)
- 入場料 : 大人(中学生以上)1,600円 / 子ども(小学生)800円 / 幼児(3歳~未就学児)600円
※鈴鹿サーキットホームページにて特別無料ご招待券をダウンロードいただけます。